

新規大学等就職面接会

地元企業に若い力を



新規大学卒業者などを対象に総合福祉センターで行われた就職面接会。参加者は各企業のブースを回り熱心に話を聞いていた

来春大学卒業者などと市内の優良企業の合同就職面接会
 昨年度、企業誘致したシノブフーズと大黒天物産も参加

地元企業の優秀な人材確保と新規大学卒業者や未就労者の就労支援を目的に、就職面接会を8月9日、総合福祉センターで開催。市内で就職を希望する新規学校卒業者など約100人が自分に合った職が見つければと、真剣に面接に臨んでいました。

市内の製造業や福祉・医療関係などの優良企業20社が面接窓口を開設。昨年度に市が中原地区に誘致したシノブフーズ株式会社と大黒天物産株式会社も操業開始に向け、この面接会に参加しました。

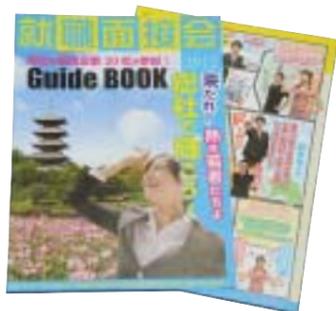
参加者は、希望する企業の担当者の話に熱心に耳を傾け、情報を収集。また、企業側も、若く、やる気の

ある優秀な人材の獲得につながるが、企業の特長や将来性などをアピールしていただきました。

総社市出身で県内の大学に通う23歳女性は「ぜひ地元企業で働きたい」と思っている。このような場を行政が用意してくれるのはとてもありがたい」と話しました。

就職面接会を市の主催で開くのは県内で初めて。倉敷中央公共職業安定所総社出張所、総社地区雇用開発協会、総社商工会議所、総社吉備路商工会と共催で開催しました。活力あるまちづくりを推進するため今後も継続して実施予定です。

問い合わせ 商工観光課 商工労政係 ☎0852-776



企業の概要が載ったガイドブック



社会科授業で協同学習をする総社西中学校の生徒

No.1

岡山県学力・学習状況調査の結果

| | 平均正答率 (%) | | | | |
|-----|-----------|------|------|------|------|
| | 4教科 | 国語 | 社会 | 数学 | 理科 |
| 総社市 | 65.0 | 74.3 | 62.2 | 66.5 | 57.0 |
| 県平均 | 62.1 | 71.4 | 58.7 | 63.2 | 54.9 |

平成24年度岡山県学力・学習状況調査の結果、数値が公表された17市町のうち総社市が1位となりました。この調査は、県内公立中学校の1年生全員を対象に、今年4月に実施されたもの。県内トップという結果について市教育委員会では、「分かる授業を目指した各校の地道な取り組みとともに、だれもが行きたくなる学校づくりの実践が、学力の向上につながっている」と分析しています。

市内のすべての幼稚園、小・中学校で取り組んでいる「だれもが行きたくなる学校づくり」は、平成22年10月からスタート。不登校の児童・生徒を減らす対策として始められました。



総社西中学校 藤井和郎校長

「だれもが行きたくなる学校づくり」に全市を挙げて取り組んでいる自治体は、全国的にもめずらしい。この取り組みにより、学校に子どもたちのコミュニケーションの場をつくり、子ども同士つながり・絆が生まれていきます。その結果、授業が落ち着いてきています。今後もこの取り組みの成果が表れることを期待しています。

主なプログラムは、①子ども同士が助け合って学習する「協同学習」、②互いに支え合う活動を通じて思いやりのある子どもを育てる「ピア・サポート」、③相手の感情を体験することで理解し、自分の感情をコントロールする「社会性と情動の学習」、④人と人が関わるルールを身につける「品格教育」の4つ。「これらのプログラムを実践していくことで、子どもたちが

コミュニケーション能力を向上させ、学校のさまざまな場面でのつながりを感じていることが、授業を安定させ、今回の良い結果につながっている」と市学校教育課秋山達郎課長は話します。

今後さらに学校、行政、家庭、地域が連携を深めながらこの取り組みを定着させ、「子どもたちが行きたと思う学校」を目指して取り組んでいきます。

「だれもが行きたくなる学校づくり」実施中
 岡山県学力・学習状況調査

第1位

